

# 1 決算総括表

(単位:百万円)

区分 事業名	収益的収支			資本的収支		
	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A)-(B)	収入 (C)	支出 (D)	差引 (C)-(D)
電気事業	(7,539) 8,700	(6,021) 6,538	(1,518) 2,162	(249) 223	(3,588) 3,754	(△ 3,339) △ 3,531
工業用水道事業	(1,890) 2,000	(1,655) 1,630	(235) 370	(379) 257	(1,083) 897	(△ 704) △ 640
水道事業	(4,868) 4,806	(3,642) 3,750	(1,226) 1,056	(9) 0	(2,846) 2,929	(△ 2,837) △ 2,929
団地造成事業	(1,133) 4,649	(1,249) 3,910	(△ 116) 739	(212) 354	(4,139) 1,435	(△ 3,927) △ 1,081
施設管理事業	(675) 755	(1,280) 844	(△ 605) △ 89	(43) 52	(270) 236	(△ 227) △ 184
合計	(16,105) 20,910	(13,847) 16,672	(2,258) 4,238	(892) 886	(11,926) 9,251	(△ 11,034) △ 8,365

(注) 本表以下、金額はいずれも消費税抜きの金額で、( )内は前年度決算額です。

## 2 損益の概要

### (1) 総括表

(単位：百万円)

区 分		事業名					合 計
		電気事業	工業用水道事業	水道事業	団地造成事業	施設管理事業	
3年度 (A)	主たる収益(注)	8,584	1,594	4,282	4,591	717	19,768
	経常損益	2,271	266	1,055	839	117	4,548
	特別損益	△ 109	104	1	△ 100	△ 206	△ 310
	純 損 益	2,162	370	1,056	739	△ 89	4,238
2年度 (B)	主たる収益(注)	7,421	1,584	4,282	1,061	636	21,792
	経常損益	1,518	230	1,216	△ 120	△ 43	4,781
	特別損益	0	5	10	4	△ 562	△ 10,883
	純 損 益	1,518	235	1,226	△ 116	△ 605	2,258
増 減 (A)－(B)	主たる収益(注)	1,163	10	0	3,530	81	4,784
	経常損益	753	36	△ 161	959	160	1,747
	特別損益	△ 109	99	△ 9	△ 104	356	233
	純 損 益	644	135	△ 170	855	516	1,980

(注) 「主たる収益」は次のとおりです。

- 電 気 事 業：販売電力料                      ○ 工業用水道事業：給水収益                      ○ 水 道 事 業：給水収益
- 団地造成事業：産業団地等の分譲収益      ○ 施 設 管 理 事 業：格納庫及び賃貸ビルの賃貸収益、ゴルフ場の使用収益

## (2) 事業別損益の状況

### ① 電気事業

(単位：百万円)

区 分	供給電力量 (kWh)	販売電力料	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
3年度(A)	857,860,029	8,584	2,271	△ 109	2,162	「電源群馬水力プラン」の推進、一部発電所の売電契約における一般競争入札への移行、八ッ場発電所運転開始などにより、販売電力料が増加し、純利益は前年度に比べて増加し、21億62百万円となりました。
2年度(B)	761,020,761	7,421	1,518	0	1,518	
増減(A)-(B)	96,839,268	1,163	753	△ 109	644	

### ② 工業用水道事業

(単位：百万円)

区 分	給水実績 (m3)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
3年度(A)	45,580,221	1,594	266	104	370	給水実績、給水収益ともにほぼ前年並みでしたが、修繕費などの費用の減少や、受水企業の契約水量減量に伴う負担金等の特別利益の計上により、純利益は、前年度に比べて増加し、3億70百万円となりました。
2年度(B)	45,430,890	1,584	230	5	235	
増減(A)-(B)	149,331	10	36	99	135	

### ③ 水道事業

(単位：百万円)

区 分	給水実績 (m3)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
3年度(A)	65,536,480	4,282	1,055	1	1,056	給水実績、給水収益ともに前年並みでしたが、企業債繰上償還に伴う補償金を計上したことなどから、純利益は、前年度に比べて減少し、10億56百万円となりました。
2年度(B)	65,536,480	4,282	1,216	10	1,226	
増減(A)-(B)	0	0	△ 161	△ 9	△ 170	

④ 団地造成事業

(単位：百万円)

区 分	分譲面積 (m <sup>2</sup> )	分譲収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
3年度(A)	241,467	4,591	839	△ 100	739	産業団地（藤岡インターチェンジ西産業団地、千代田第二工業団地、甘楽第一産業団地等）と住宅団地（ふれあいタウンちよだ、板倉ニュータウン）を合わせ、約24.1ヘクタールを分譲しました。 前年度に比べ、分譲面積が約18.5ヘクタール増え分譲収入が約35億円増加したことにより、経常損益、純損益とも黒字に転じ、7億39百万円の純利益となりました。
2年度(B)	56,408	1,061	△ 120	4	△ 116	
増減(A)-(B)	185,059	3,530	959	△ 104	855	

⑤ 施設管理事業

(単位：百万円)

区 分	ゴルフ場利用人員(人)	ゴルフ場収益 及び 賃貸収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
	賃貸ビル賃貸面積(m <sup>2</sup> )					
3年度(A)	220,134	717	117	△ 206	△ 89	新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業休止がなかったこと、ゴルフ場事業の指定管理者納付金の増加、固定資産除却費の減少などにより、経常損益は1億17百万円の黒字に転じました。 純損益は旧上武ゴルフ場の廃止に伴う特別損失2億17百万円を計上しましたが、前年度に計上した減損損失の反動により大幅に改善し、89百万円の純損失となりました。
	4,495					
	2,541					
2年度(B)	182,323	636	△ 43	△ 562	△ 605	
	4,468					
	2,380					
増減(A)-(B)	37,811	81	160	356	516	
	27					
	161					